

「考え、議論する道徳」の実現に向けた授業構想<小・道徳>

特別研修員 道徳 金井 智之（小学校教諭）

主題名 集団の一員として
内容項目 C-（16）よりよい学校生活、集団生活の充実
教材名 『みんなで劇をつくろう』（日本文教出版）第6学年

ねらい

剛が気付いたことについて議論することを通して、よりよい学校生活には、一人一人が責任をもって役割を果たし、目標に向かって全員が力を合わせる大切であることに気づき、自分の役割を積極的に果たそうとする心情を育てる。

動画を活用した授業構想

基本発問・中心発問において、児童から出てきた意見を分類して板書することで、教材を通して考えた道徳的価値についての情報を整理します。また、中心発問・補助発問の後に精選した鼓笛の練習風景の動画を提示することで、生活の中にある本時と関わる道徳的価値についての情報を児童が読み取れるようにします。二つの情報を児童が活用していく授業を展開することで、集団と個のよりよい関係を読み取らせ、教材を通じて考えた集団生活を構築しようと努力する心情と学校での集団に対する自分の心情を関連させて考えられるようにします。

過程	主な学習活動（○発問 ◎中心発問 ◇補助発問）	教材
導入	<p>1. 本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。 ○鼓笛をどのような思いで作り上げてきたのでしょうか。 ○これからの学校生活をよりよくするには、どのような気持ちが必要なのでしょう。</p> <p>【めあて】よりよい学校生活を送るには、どのような気持ちが必要なのでしょう。</p>	<p>教材を通して深まった集団に対する考え</p> <p>問題意識</p> <p>仕事に 対して</p> <p>集団に 対して</p> <p>やる気がなくなってきた ・楽勝 ・めんどろ ・みんなに 責められた ・言い過ぎた</p> <p>自分が言われている ・自分ではできていない ・台なしにしようとしていた</p> <p>本番の日が待ち遠しい ・役割の重大さ ・成功させたい ・やる気アップ ・自信がついた</p> <p>チームワーク ・メンバー同士 ・はく手</p>
展開	<p>2. 教科書の教材文の範読を聞く。 3. 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。 ○剛は、だんだんやる気がなくなってきたとき、どのようなことを考えていたのでしょうか。 ・教師の発問と板書の工夫により、剛の仕事に対する気持ちと、周囲（集団）に対する不満について二つに分けて考える。 ○剛の気持ちに変化が起きたきっかけは何だったのでしょうか。</p> <p>◎剛が、本番が待ち遠しくなったのは、どんな気持ちの変化があったからでしょう。</p> <p>（ペアの交流） ・ペアや全体で考えの交流を行い、考えが変容した時にはノートに青文字で記入する。 ◇劇への影響がなければ、一人くらい手を抜いていても問題ないではありませんか。</p> <p>・鼓笛の練習風景の動画を見て、素晴らしい演奏になるように一生懸命練習したことを想起する。</p>	<p>基本発問 中心発問 補助発問</p> <p>児童から出てきた意見を分類して板書する</p> <p>関連させて考える</p> <p>道徳的価値についての情報を整理するために</p> <p>・主人公の仕事に対する気持ちと、周囲（集団）に対する不満を児童から引き出し、黒板の上下段に分けて板書する。そして、教材を通して深まった集団に対する考えと、動画で見た自分自身の体験を関連させて自分事として考えられるようにする。</p>
終末	<p>4. 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてもう一度考える。 ○これからの学校行事や日常生活をよりよいものにしていくためには、一人一人がどのような気持ちを大切にしていけばよいと思いますか。</p> <p>5. 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。 ○本日の学習で考えたことを生かして、どのように生活していきたいですか。 ・集団における個の役割について考えられている友達の考えを聞き、参考にしながら各自が授業を振り返る。</p> <p>【振り返り】の例 ・最高学年として、委員会や児童会の活動を頑張り、もっと明るく楽しい学校にしていきたい。</p>	<p>動画</p> <p>自分事</p> <p>振り返り</p> <p>生き方への思い</p> <p>鼓笛の練習 （動画の様子）</p> <p>道徳的価値についての情報を比較するために</p> <p>・鼓笛の練習風景の動画を精選して提示することで、教材を通して考えた道徳的価値を学校生活の中から読み取らせ、個人の頑張りや集団としての演技をよりよいものにしたという道徳的価値につなげられるようにする。</p>

指導例：主題名 集団の一員として 内容項目 C- (16) よりよい学校生活、集団生活の充実
 教材名『みんなで劇をつくろう』（日本文教出版）第6学年

ねらい：剛が気付いたことについて議論することを通して、よりよい学校生活には、一人一人が責任をもって役割を果たし、目標に向かって全員が力を合わせる大切であることに気づき、自分の役割を積極的に果たそうとする心情を育てる。

主な学習活動（○発問 ◎中心発問 ◇補助発問）

1 本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。
 ○鼓笛をどのような思いで作り上げてきたのでしょうか。
 S：運動会の日までに完成させるために、頑張った。
 S：いい思い出になるよう、頑張った。
 T：様々な思いをもって行事に取り組んでいる人がいますが、これからの学校生活をよりよくするには、どのような気持ちが必要なのでしょう。



〈価値の捉え〉

【めあて】よりよい学校生活を送るには、どのような気持ちが必要なのでしょう。

2 教科書の教材文の範読を聞く。
 3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。
 ○剛は、だんだんやる気がなくなってきたとき、どのようなことを考えていたのでしょうか。
 S：面倒だな。
 S：みんなから責められて、いやだな。
 ○剛の気持ちに変化が起きたきっかけは何だったのでしょうか。
 S：劇団の人の話を聞いて、仕事に対して責任がもててなかった自分が恥ずかしいと思ったとき。
 ◎剛が、本番が待ち遠しくなったのは、どんな気持ちの変化があったからでしょう。
 S：自分の役割の重大さに気付いた。 S：みんなと一緒に成功させたい。
 ◇劇への影響がなければ、一人くらい手を抜いていても問題ないではありませんか。
 S：全員の気持ちを一つにして、最後にメンバー同士が拍手をし合えるようにしなければいけない。

鼓笛の練習風景の動画を見て、素晴らしい演奏になるように一生懸命練習したことを想起する。

S：自分たちの鼓笛でも、一人一人ががんばってよい演奏ができた。

4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてもう一度考える。
 ○これからの学校行事や日常生活をよりよいものにしていくためには、一人一人がどのような気持ちを大切にしていけばよいと思いますか。
 S：任された仕事に、責任をもとうという気持ち。
 S：みんなで協力して、学校をよりよくしていこうという気持ち。



〈価値の変容〉

5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。
 ○本日の学習で考えたことを生かして、どのように生活していきたいですか。
 S：委員会の仕事に責任をもって、全力で取り組んでいきたい。
 S：6年生としての責任感をもちたい。
 S：自分が頑張るだけでなく、6年生のみんなと団結して頑張りたい。

指導のポイント

【問題意識をもつ】

・運動会で披露した鼓笛の練習期間の話題に触れることで、本時の内容を自分事として捉えさせる。

【めあての設定】

・「残りの小学校生活をよりよくするための大切な気持ちを考える」という目的を明確にし、本時に対する意欲を高めさせる。

【情報の整理】

・児童から出てきた考えを分類して二つに分けて板書することで、考えを整理できるようにする。

【中心発問について】

・出てきた考えに対して他者に意見を求め、多面的・多角的に意見を捉えさせる。

【補助発問について】

・児童の本音に迫る発問を行い、道徳的価値についてより深く考えさせ、集団に積極的に関わることのよさがあることに気付かせる。

【情報の比較】

・教材の主人公の気持ちと関連させて、鼓笛の練習に臨んだ集団の一員としての気持ちを想起させる。

【振り返り】

・集団における個の役割について考えられている児童の意見を取り上げ、学年・学校に対する思いを共有させることで、今後の学校生活をよりよくしていこうとする意欲を高めさせる。

道徳科学習指導案

令和元年10月 第6学年 指導者 金井 智之

1 主題名 集団の一員として 内容項目C-(16)よりよい学校生活、集団生活の充実

2 教材名 「みんなで劇をつくろう」(出典：日本文教出版)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

人は社会的な存在であり、家族や学校をはじめとする様々な集団や社会に属して生活を営んでいる。それらにおける集団と個の関係は、集団の中で一人一人が尊重されながら生かされ、主体的な参加と協力の下に集団生活が成り立ち、その質的な向上が図られるものでなければならない。そこで、様々な集団に属する一人一人が、集団の活動に積極的に参加し、集団の意義に気付き、自分の役割と責任を自覚して、充実した集団生活を構築しようと努力する心情を育てることが大切である。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は、規範意識が高く、ルールを守って集団生活を行おうとする児童が多い。また、集団の中で任された仕事を真面目に行おうとする児童も多い。しかし、自分から考えて集団のために動くことのできる児童は少数で、よりよい学年・学校にするために行動を起こそうとする意欲には個人差がある。そこで、集団を支えているのは集団を構成する一人一人の個であるということに気付かせるとともに、集団における自分の役割を自覚し、責任を果たそうとする心情を育てたい。

(3) 教材について

本教材は、学級で劇をつくる活動の音響係を任された主人公が、教材の前半で仕事に対して責任がもてずに、だんだんとやる気をなくしていくという話である。しかし、主人公は教材の後半で、劇団の人の話を聞くことを通して、自分の力を生かして責任をもって任されたことをやり遂げることの大切さに気付く。主人公が気付いたことを話し合うことで、学校生活において自分の役割を積極的に果たそうとする心情が高められる教材である。

4 指導方針

○本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつために

・導入では、運動会で披露した鼓笛の練習期間の話題に触れることで、一人一人が練習に励み、学年集団で頑張って演奏をつくり上げた思いを想起させ、本時の内容を自分事として捉えられるようにする。

○教材を通して、道徳的価値の追求を行うために

・基本発問では、剛の仕事に対する気持ちだけでなく、周囲(集団)に対する不満も引き出すことで、中心発問で集団に着目した考えについても気付けるようにする。
・中心発問の後には、鼓笛の練習風景の動画を見ることで、それぞれが一生懸命練習していたことを想起させる。そして、そのことが本番での素晴らしい演奏につながったことを確認し、教材を通して深まった考えと自分自身の体験を関連させて考えられるようにする。

○本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返るために

・終末の場面では、これからの学校生活に対する考えを全体で共有することで、集団における個の役割に対する考えの深まりを実感できるようにする。

○道徳的価値についての情報の整理・比較のために

・鼓笛の練習風景の動画を精選して提示することで、集団と個の関係の情報を読み取り、「一人一人が練習を頑張ったことで、集団としてすばらしい演技が完成した」という道徳的価値につなげられるようにする。

5 本時の展開

(1) ねらい

剛が気付いたことについて議論することを通して、よりよい学校生活には、一人一人が責任をもって役割を果たし、目標に向かって全員が力を合わせる大切であることに気付き、自分の役割を積極的に果たそうとする心情を育てる。

(2) 準備

教師：鼓笛隊の写真、登場人物の絵、ワークシート、鼓笛の練習風景の動画、パソコン

(3) 展開 (○発問 ◎中心発問 ◇補助発問)

学習活動と発問	時間	予想される児童の反応	指導上の留意点
1 本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。 ○鼓笛をどのような思いでつくり上げてきたのでしょうか。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・頑張ろうという気持ち。 ・低学年にかっこいい姿を見せたいという気持ち。 ・みんなで協力する気持ち。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運動会で披露した鼓笛隊の立ち上げの頃の話に触れ、約一年間の練習の日々を想起できるようにする。 ●「残りの学校生活をよりよくするために、大切な気持ちを考えよう」という目的を明確にし、本時に対する意欲を高める。
めあて：よりよい学校生活を送るには、どのような気持ちが必要なのだろう。			
2 教科書の教材文の範読を聞く。 3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。 ○剛は、だんだんやる気がなくなってきたとき、どのようなことを考えていたのでしょうか。 ○剛の気持ちに変化が起きたきっかけは何だったのでしょうか。	7分	<ul style="list-style-type: none"> ・たいした仕事じゃない。 ・自分一人くらい頑張らなくてもいい。 ・みんなに責められる。 ・劇団の人の話を聞き、仕事に対して責任がもてていなかった自分が恥ずかしいと思ったとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●剛が音響係の仕事への意欲がなくなってきた原因を、「仕事に対する意欲の低さ」と「周囲への不満」の二つに分けて板書する。そして、中心発問で仕事に対する意見と集団の一員としての意見を整理して考えられるようにする。 ●ペアでの話合いの前に、自分の意見と似ているか似ていないかを考えながら他者と話し合うように伝えることで、多面的・多角的に意見を捉えられるようにする。 ●話合いの結果により変容した意見は、青文字でワークシートに追加して記入させ、視覚的に捉えやすくする。
◎剛が、本番が待ち遠しくなったのは、どんな気持ちの変化があったからでしょう。 (個人) → (ペア) → (全体) ◇劇への影響がなければ、一人くらい手を抜いていても問題ないではありませんか。	16分	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな役割も必要だ。 ・全力を尽くしたい。 ・みんなの頑張りを無駄にしたくない。 ・みんなと一緒に劇を成功させて喜びたい。 ・全員の気持ちが一つにならないと、よい劇とはいえない。 ・自分たちの鼓笛でも、一人一人が頑張ったから、全体の作品がよいものになったのだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基本発問で出てきた剛の不満を基にした補助発問を行うことで、児童の本音を引き出す。さらに、考えの根拠を問い返すことで、集団に積極的に関わることのよさがあることに気付けるようにする。 ●鼓笛の練習風景の動画視聴では、中心発問や補助発問で出た意見と関連させることで、鼓笛の練習に臨んだ集団の一員としての気持ちを想起できるようにする。
4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについても一度考える。 ○これからの学校行事や日常生活をよりよいものにしていくためには、一人一人がどのような気持ちを大切にしていけばよいと思いますか。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・できることに対して責任をもって行おうという気持ち。 ・大変なことや面倒なことがあっても、最後には6年生みんなで達成感を得られるように頑張ろうという気持ち。 ・低学年の手本となり、学校をよりよくしていこうという気持ち。 	<ul style="list-style-type: none"> ●めあてについて再び考えさせることで、教材の中で剛が考えたことや、鼓笛の練習で自分自身が考えたことを今後の学校生活に生かそうという思いに結び付けられるようにする。 ●個人の頑張りを「よりよい集団づくりのため」という考えに広げられるよう、集団を意識した児童の意見を取り上げる。
5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。 ○本日の学習で考えたことを生かして、どのように生活していきたいですか。	7分	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の仕事をしっかりと行って、学校のために役立つようになりたい。 ・残りの半年で、6年生として学校をよりよくしていくために、委員会や係の仕事のしっかりとやりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ワークシートに考えたことを記入して振り返らせることで、全員が自分事として本時の内容を捉えられるようにする。 ●児童それぞれの学年・学校に対する思いを全体に共有させることで、これからの学校生活をよりよくしていこうとする意欲を高め、授業を終えられるようにする。

(4) 評価の視点

- 剛の気持ちをグループや全体で話し合う場面で、集団の中で自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めることの意義について、多面的・多角的な見方へと発展しているか。
- 本時の振り返りの場面で、集団の中で自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めることの意義について、自分自身との関わりの中で深めているか。